

問1 漁港でとれたばかりの魚が集められ、買い手が値段を決めるために「せり」を行う場所を何といますか。

1. 魚市場 2. 冷凍庫 3. 水族館 4. スーパーマーケット

問2 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。

1. 将来にわたって魚をとり続けるため 2. 魚の値段を高くするため 3. 新しい漁場を発見するため 4. 外国との貿易を活発にするため

問3 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。

1. 農家が商品を運ぶ必要がなくなる 2. 市場でのせりを行うことで価格が高くなる 3. 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる 4. 市場を通すよりも時間がかかる

問4 直売所の特徴として、もっとも正しい説明はどれですか。

1. 世界中の珍しい食材が集まる 2. スーパーより鮮度が高いものが多い 3. いつでも必ず同じ野菜が買える 4. スーパーより必ず値段が安い

問5 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何といますか。

1. 間伐 2. 枝打ち 3. 伐採 4. 植林

問6 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

1. 日本の近くの海に、プランクトンが急に増えたため。 2. 船を動かすための燃料が、世界中で使えなくなったため。 3. 魚を卵から人工的に育てる技術が広まったため。 4. 排他的経済水域の取り決めなどができたため。

問7 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といますか。

1. 漁場の拡大 2. 乱獲の促進 3. 漁獲規制 4. 魚の養殖

問8 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何といますか。

1. 抑制栽培 2. 促成栽培 3. 有機栽培 4. 二毛作

問9 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。

1. 平地では野菜が育たないから 2. 平地よりも一年中気温が高いから 3. 雨がほとんど降らない地域だから 4. すずしい気候を好む野菜を、夏に育てることができるから

問10 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。

1. 売れ残った農作物を捨てずに保存すること 2. 地元でとれた農産物を、その地域で消費すること 3. 遠くの大都市へ農作物をたくさん送ること 4. 外国から安い農作物をたくさん輸入すること

問11 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といますか。

1. 栽培漁業 2. 遠洋漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖漁業

問12 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といますか。

1. 促成栽培 2. 酪農 3. 水産業 4. 林業

問13 遠くの海で行う漁業で、1970年代から生産量が大きく減り続けているものはどれですか。

1. 沿岸漁業 2. 沖合漁業 3. 遠洋漁業 4. 養殖業

問14 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といますか。

1. 海溝 2. 干潟 3. 大陸だな 4. 潮目

問15 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

1. 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため 2. 魚を大きく育てるためのえさを海から集めるため 3. 他の漁業よりも働く時間が短くてすむため 4. 海を汚さないため

問16 畜産で生産されるもの（つくられるもの）の組み合わせとして、正しいものはどれですか。

1. 肉や牛乳、卵 2. 魚や貝、わかめ 3. 野菜や果物、米 4. 木材や炭、きのこ

問17 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。

1. 海や川の水をきれいに掃除してもらうため 2. 魚が小さいうちに食べられないように守り、漁業資源を増やすため 3. 魚を人間に慣れさせて、とりやすくするため 4. えさ代を浮かせて、より安く魚を売るため

問18 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といますか。

1. 農業協同組合 2. 農業試験場 3. 農村自治会 4. 農家連合会

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 魚市場	漁港でとれた魚を全国の食卓へ届けるための大切な中継地点です。魚市場では、多くの買い手が集まって「せり」という方法で魚の値段を決めるため、漁業の流通にとって欠かせない場所となっています。
問2	答え 1 将来にわたって魚をとり続けるため	一度にたくさんの魚をとってしまうと、魚が十分に育ったり増えたりする前にいなくなってしまう。将来もずっと安定して魚をとれるように、今とる量を調整して、海にいる魚の数を守ることがこの取り組みの大切な理由です。
問3	答え 3 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる	産地直送の大きな特徴は、市場や卸売業者という「中間」のステップを省くことです。これにより、輸送にかかる日数が短くなって新鮮なものが届くだけでなく、中間でかかる余計なコストを抑え、農家にも消費者にも適正な価格で取引ができるようになります。
問4	答え 2 スーパーより鮮度が高いものが多い	直売所は、農家から直接届くため、収穫してからお店に並ぶまでの時間が短く、鮮度が高いことが最大の強みです。ただし、スーパーマーケットのように大量に仕入れて安く売る仕組みとは異なるため、必ずしも値段が一番安いとは限りません。
問5	答え 3 伐採	長い年月をかけて育てた木を、木材として利用するために切る作業のことを伐採といいます。植林は苗木を植えること、枝打ちは節のないきれいな木にするために枝を切り落とすこと、間伐は成長を助けるために木を間引くことを指します。
問6	答え 4 排他的経済水域の取り決めなどができたため。	遠洋漁業は、排他的経済水域の取り決めなどができたことにより、遠くの外で自由に漁ができなくなったため、1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問7	答え 3 漁獲規制	将来もずっと魚をとることができるように、とりすぎを防ぐためのルールを設けることを漁獲規制といいます。単に魚をとることを禁止するのではなく、量や期間を計画的に管理することで、魚の数が減るのを助けながら、安定した漁業ができるようにしています。
問8	答え 2 促成栽培	あたたかい気候やビニールハウスを利用して、野菜を早い時期に育てて出荷する方法を促成栽培といいます。
問9	答え 4 すずしい気候を好む野菜を、夏に育てることができるから	平地では夏に気温が高くなりすぎて、レタスなどのすずしい気候を好む野菜はうまく育ちません。そこで、夏でもすずしい高原地域を利用することで、夏の時期に新鮮な野菜を全国へ届けることができます。
問10	答え 2 地元でとれた農産物を、その地域で消費すること	地産地消は、自分たちが住んでいる地域でとれた食べ物を、その地域の中で食べることを指します。輸送する距離が短くなるため、新鮮なものを食べられるだけでなく、運ぶときのエネルギーを減らせるという環境にやさしいメリットもあります。
問11	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、稚魚を放流して自然の海や川で育てる手法です。これに対して「養殖漁業」は、いけすなどの施設の中でえさを与え、完全に人の手で管理して育てるという違いがあります。
問12	答え 2 酪農	畜産のうち、特に乳牛を飼って牛乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する仕事を酪農といいます。
問13	答え 3 遠洋漁業	遠くの外で行う漁業を「遠洋漁業」といい、排他的経済水域の取り決めなどによって1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問14	答え 4 潮目	あたたかい海流（暖流）と冷たい海流（寒流）がぶつかり、よい漁場となっている場所を「潮目」といいます。
問15	答え 1 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため	とる漁業だけでは魚の数が足りなくなってしまうこともあるため、施設を利用して自分たちで計画的に育てることで、いつでも安心して魚を食べられるようにするのが養殖漁業の大切な役割です。
問16	答え 1 肉や牛乳、卵	畜産は、牛やぶた、にわとりなどを飼うことで、肉や牛乳、卵などを生産する仕事です。
問17	答え 2 魚が小さいうちに食べられないように守り、漁業資源を増やすため	稚魚の時期は他の魚に食べられやすく、自然のままでは生き残る数が少ないことがあります。そのため、施設で安全に大きく育ててから放流することで、海や川にいる魚の数を効率よく増やし、安定して漁獲できるようにしています。
問18	答え 1 農業協同組合	農業協同組合（JA）は、農家同士が協力して農業経営を良くしていくための組織です。共同で肥料などの材料を買ったり、育てた作物を販売したりすることで、個人の農家だけでは難しい活動を支え、地域の農業全体を発展させる役割を担っています。

問1 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 農作物の値段を、全国どこでも同じにすることができる | 2. 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる | 3. 大都市にある大きなスーパーに、たくさんの商品を並べられる | 4. 外国との貿易を活発にして、いろいろな国の食べ物を増やせる |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問2 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 高冷地農業 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|----------|---------|

問3 大陸だなの近くでは、なぜよい漁場ができるのですか。

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 水深がとても深く、大きな魚だけが集まるため。 | 2. 波がまったくなく、魚が卵を産みやすいため。 | 3. 川から流れてくる真水と塩水が混ざり合うため。 | 4. 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多いため。 |
|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------------|

問4 養殖業のやり方として、正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 遠くの海まで船で行き、数か月かけてたくさん魚をとる。 | 2. 暖流と寒流がぶつかる場所を探して、自然に集まる魚をとる。 | 3. 卵から育てた稚魚を一度海に放流し、大きくなって戻ってきた魚をとる。 | 4. 卵からかえした稚魚などを、いけすなどで大きくなるまで人工的に育てる。 |
|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問5 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 漁場の拡大 | 2. 乱獲の促進 | 3. 漁獲規制 | 4. 魚の養殖 |
|----------|----------|---------|---------|

問6 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。

- | | | | |
|------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 売れ残った農作物を捨てずに保存すること | 2. 地元でとれた農産物を、その地域で消費すること | 3. 遠くの大都市へ農作物をたくさん送ること | 4. 外国から安い農作物をたくさん輸入すること |
|------------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|

問7 遠くの海で行う漁業で、1970年代から生産量が大きく減り続けているものはどれですか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 沿岸漁業 | 2. 沖合漁業 | 3. 遠洋漁業 | 4. 養殖業 |
|---------|---------|---------|--------|

問8 農業試験場が、地元の農家のために行っている活動として正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1. 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する | 2. 農作物の価格を全国一律に決める | 3. 農作物を安く買い取ってスーパーへ売る | 4. 農家から集めたお金を貯金したり貸し出したりする |
|-----------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|

問9 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。

- | | | | |
|-----------------|--------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 1. 魚を安く買うことができる | 2. 魚を冷やすための氷を海から作ることができる | 3. 漁師が海で働く時間を短くできる | 4. 獲った魚を新鮮なうちに加工して、製品として売ることができる |
|-----------------|--------------------------|--------------------|----------------------------------|

問10 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

- | | | | |
|-------|-------|--------|---------|
| 1. 畜産 | 2. 酪農 | 3. 水産業 | 4. 栽培漁業 |
|-------|-------|--------|---------|

問11 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。

- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. 貯水池 | 2. 加工工場 | 3. 魚市場 | 4. ビニールハウス |
|--------|---------|--------|------------|

問12 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 1. 日本の近くの海に、プランクトンが急に増えたため。 | 2. 船を動かすための燃料が、世界中で使えなくなったため。 | 3. 魚を卵から人工的に育てる技術が広まったため。 | 4. 排他的経済水域の取り決めなどができたため。 |
|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------|

問13 林業において、木と木の間隔を広げて日光が地面まで届くようにし、木の成長を助けるための作業を何といいますか。

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 伐採 | 2. 下草刈り | 3. 植林 | 4. 間伐 |
|-------|---------|-------|-------|

問14 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。

- | | | | |
|--------------------|------------------------|-----------------------------|-------------------|
| 1. 農家が商品を運ぶ必要がなくなる | 2. 市場でのせりを行うことで価格が高くなる | 3. 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる | 4. 市場を通すよりも時間がかかる |
|--------------------|------------------------|-----------------------------|-------------------|

問15 近郊農業を行う農家が、いろいろな種類の野菜を少しずつ計画的に作っている理由として、最も適切なものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 天気に左右されない野菜だけを選ぶため | 2. 大都市の人々の様々なニーズに応えるため | 3. 機械だけで全て自動で作れる野菜だから | 4. 米をたくさん作るためにお金が必要だから |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|

問16 林業の作業を、最初に行うものから順に正しく並べたものはどれですか。

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 植林 → 伐採 → 間伐 → 枝打ち → 下草刈り | 2. 伐採 → 間伐 → 枝打ち → 下草刈り → 植林 | 3. 植林 → 下草刈り → 枝打ち → 間伐 → 伐採 | 4. 下草刈り → 植林 → 枝打ち → 伐採 → 間伐 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる	地元で生産されたものを地元で消費することで、遠くまで運ぶ必要がなくなります。これにより、トラックなどが排出する二酸化炭素を減らせるため、地球環境を守ることにつながります。また、地域の農家が元気になり、地域の産業が活性化するという良さもあります。
問2	答え 3 高冷地農業	標高が高い場所にある高原などは、夏でも気温が低くすずしいため、暑さを苦手とする野菜を育てるのに適しています。このような気候の特徴を活かした農業を高冷地農業と呼びます。
問3	答え 4 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多いため。	大陸だなは浅い海底で、暖流や寒流が近くを流れることで海そうやプランクトンが多くなり、魚が集まるよい漁場になります。
問4	答え 4 卵からかえした稚魚などを、いけすなどで大きくするまで人工的に育てる。	養殖業は、卵からかえした稚魚などをいけすなどの人工的な環境で大きくなるまで育てて出荷する漁業です。
問5	答え 3 漁獲規制	将来もずっと魚をとることができるように、とりすぎを防ぐためのルールを設けることを漁獲規制といいます。単に魚をとることを禁止するのではなく、量や期間を計画的に管理することで、魚の数が減るのを助けながら、安定した漁業ができるようにしています。
問6	答え 2 地元でとれた農産物を、その地域で消費すること	地産地消は、自分たちが住んでいる地域でとれた食べ物を、その地域の中で食べることを指します。輸送する距離が短くなるため、新鮮なものを食べられるだけでなく、運ぶときのエネルギーを減らせるという環境にやさしいメリットもあります。
問7	答え 3 遠洋漁業	遠くの海で行う漁業を「遠洋漁業」といい、排他的経済水域の取り決めなどによって1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問8	答え 1 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する	農業試験場は、農家が抱える「病害虫を減らしたい」「もっと収穫量を増やしたい」といった悩みを解決するために、科学的な実験や調査を行う場所です。お金の管理や農作物の販売は、主に農業協同組合（JA）が行う役割です。
問9	答え 4 獲った魚を新鮮なうちに加工して、製品として売ることができる	獲った魚をすぐに加工することで、保存がきくようにしたり、料理しやすくしたりできます。このように工夫することで、魚の価値を高め、おいしい状態で全国に届けることができます。
問10	答え 1 畜産	牛やぶた、にわとりなどの家畜を飼育して、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を畜産といいます。
問11	答え 3 魚市場	獲れたばかりの魚が集められ、値段を決める「競り（せり）」が行われる場所のことです。ここで決まった魚が、日本各地のスーパーやお店へ運ばれていきます。
問12	答え 4 排他的経済水域の取り決めなどができたため。	遠洋漁業は、排他的経済水域の取り決めなどができたことにより、遠くの海で自由に漁ができなくなったため、1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問13	答え 4 間伐	森の木々が育つと、木どうしが混み合っただけで日光が当たりにくくなります。そこで、あえて一部の木を切り倒して間隔を広げる「間伐」を行うことで、残った木に十分な日光と栄養がいきわたり、丈夫に育つようになります。
問14	答え 3 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる	産地直送の大きな特徴は、市場や卸売業者という「中間」のステップを省くことです。これにより、輸送にかかる日数が短くなって新鮮なものが届くだけでなく、中間でかかる余計なコストを抑え、農家にも消費者にも適正な価格で取引ができるようになります。
問15	答え 2 大都市の人々の様々なニーズに応えるため	大都市には多くの消費者が住んでおり、好みが多様です。そのため、種類の野菜を大規模に作るのではなく、消費者の需要に合わせて様々な野菜を年間を通して供給することが、近郊農業の大きな特徴となっています。
問16	答え 3 植林 → 下草刈り → 枝打ち → 間伐 → 伐採	林業は、まず苗木を植える「植林」から始まります。その後、雑草を取り除く「下草刈り」、木の成長を促す「枝打ち」や「間伐」という手入れを丁寧に行い、最後に木が十分に育ったところで「伐採」をして木材を収穫します。

問1 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。

1. 買い手と値段を決めること 2. 魚をきれいな水で洗うこと 3. 魚を冷たく保存すること 4. 魚の骨を取り除くこと

問2 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何とといいますか。

1. 促成栽培 2. 近郊農業 3. 茶の栽培 4. 抑制栽培

問3 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何とといいますか。

1. 促成栽培 2. 酪農 3. 水産業 4. 林業

問4 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何とといいますか。

1. 近郊農業 2. 抑制栽培 3. 高冷地農業 4. 促成栽培

問5 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

1. 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため 2. 魚を大きく育てるためのえさを海から集めるため 3. 他の漁業よりも働く時間が短くてすむため 4. 海を汚さないため

問6 農業試験場が、地元の農家のために行っている活動として正しいものはどれですか。

1. 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する 2. 農作物の価格を全国一律に決める 3. 農作物を安く買い取ってスーパーへ売る 4. 農家から集めたお金を貯金したり貸し出したりする

問7 畜産で生産されるもの（つくられるもの）の組み合わせとして、正しいものはどれですか。

1. 肉や牛乳、卵 2. 魚や貝、わかめ 3. 野菜や果物、米 4. 木材や炭、きのこ

問8 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。

1. 将来にわたって魚をとり続けるため 2. 魚の値段を高くするため 3. 新しい漁場を発見するため 4. 外国との貿易を活発にするため

問9 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。

1. 農作物の値段を、全国どこでも同じにすることができる 2. 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる 3. 大都市にある大きなスーパーに、たくさんの商品を並べられる 4. 外国との貿易を活発にして、いろいろな国の食べ物を増やせる

問10 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何とといいますか。

1. 栽培漁業 2. 遠洋漁業 3. 沖合漁業 4. 養殖漁業

問11 促成栽培のやり方や特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. 農薬や化学肥料にたよらないで、自然の力だけで野菜をつくる。 2. ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。 3. 同じ土地で、1年のうちに2種類の異なる作物を順番につくる。 4. すずしい気候を利用して、ほかの地域よりも遅い時期に野菜をつくる。

問12 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何とといいますか。

1. 畜産 2. 酪農 3. 水産業 4. 栽培漁業

問13 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何とといいますか。

1. 直売所 2. 自動販売機 3. デパート 4. コンビニエンスストア

問14 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。

1. 雨がほとんど降らない地域で、水を節約しながら育てるため 2. 広い土地に一度に機械で種をまき、人手をかけずに収穫するため 3. 本来の旬とはちがう時期に出荷して一年中食べられるようにするため 4. 冬の寒さにたえられるように、ビニールハウスであたためて育てるため

問15 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何とといいますか。

1. 農業協同組合 2. 農業試験場 3. 農村自治会 4. 農家連合会

問16 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何とといいますか。

1. 市場経由 2. 産地直送 3. 卸売販売 4. 輸入販売

問17 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何とといいますか。

1. 貯水池 2. 加工工場 3. 魚市場 4. ビニールハウス

問18 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。

1. 海や川の水をきれいに掃除してもらうため 2. 魚が小さいうちに食べられないように守り、漁業資源を増やすため 3. 魚を人間に慣れさせて、とりやすくするため 4. えさ代を浮かせて、より安く魚を売るため

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 買い手と値段を決めること	せりは、漁業者が持ってきた魚に対して、買い手が希望する値段を出し合い、最終的に誰がいくらで買うかを決める仕組みです。この仕組みがあるおかげで、魚の値段が公正に決まり、スムーズに各地へ運ばれていくことができます。
問2	答え 2 近郊農業	大都市の近くで行われるこの農業は、消費者に新鮮な野菜を届けることが大切です。そのため、トラック輸送などを利用して、大都市の人々が求める野菜を計画的に出荷する工夫がされています。
問3	答え 2 酪農	畜産のうち、特に乳牛を飼って牛乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する仕事を酪農といいます。
問4	答え 3 高冷地農業	標高が高い場所にある高原などは、夏でも気温が低くすずしいため、暑さを苦手とする野菜を育てるのに適しています。このような気候の特徴を活かした農業を高冷地農業と呼びます。
問5	答え 1 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため	とる漁業だけでは魚の数が足りなくなってしまうこともあるため、施設を利用して自分たちで計画的に育てることで、いつでも安心して魚を食べられるようにするのが養殖漁業の大切な役割です。
問6	答え 1 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する	農業試験場は、農家が抱える「病害虫を減らしたい」「もっと収穫量を増やしたい」といった悩みを解決するために、科学的な実験や調査を行う場所です。お金の管理や農作物の販売は、主に農業協同組合（JA）が行う役割です。
問7	答え 1 肉や牛乳、卵	畜産は、牛やぶた、にわとりなどを飼うことで、肉や牛乳、卵などを生産する仕事です。
問8	答え 1 将来にわたって魚をとり続けるため	一度にたくさんの魚をとってしまうと、魚が十分に育ったり増えたりする前にいなくなってしまう。将来もずっと安定して魚をとれるように、今とる量を調整して、海にいる魚の数を守ることがこの取り組みの大切な理由です。
問9	答え 2 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる	地元で生産されたものを地元で消費することで、遠くまで運ぶ必要がなくなります。これにより、トラックなどが排出する二酸化炭素を減らせるため、地球環境を守ることにつながります。また、地域の農家が元気になり、地域の産業が活性化するという良さもあります。
問10	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、稚魚を放流して自然の海や川で育てる手法です。これに対して「養殖漁業」は、いけすなどの施設の中でえさを与え、完全に人の手で管理して育てるという違いがあります。
問11	答え 2 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。	促成栽培は、ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくって出荷する工夫です。
問12	答え 1 畜産	牛やぶた、にわとりなどの家畜を飼育して、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を畜産といいます。
問13	答え 1 直売所	生産者が自分で育てた農産物を、卸売市場やスーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、消費者に直接売る場所を「直売所」といいます。収穫したばかりの新鮮なものが手に入ることや、生産者の顔が見える安心感があることが大きな特徴です。
問14	答え 3 本来の旬とはちがう時期に出荷して一年中食べられるようにするため	夏の涼しい気候を利用して、ふつうの地域では野菜が育ちにくい時期に栽培することを「抑制栽培（よくせいさいばい）」といいます。これにより、本来の旬とはちがう夏の間にも、新鮮なキャベツやレタスを消費者に届けることができます。
問15	答え 1 農業協同組合	農業協同組合（JA）は、農家同士が協力して農業経営を良くしていくための組織です。共同で肥料などの材料を買ったり、育てた作物を販売したりすることで、個人の農家だけでは難しい活動を支え、地域の農業全体を発展させる役割を担っています。
問16	答え 2 産地直送	生産者が育てた作物を、市場や問屋を通さずに消費者に直接届ける仕組みを「産地直送」といいます。間にはさまる業者を減らすことで、新鮮な状態のまま消費者に届けたり、生産者の顔が見えて安心感を持ってもらえたりするなどの良い点があります。
問17	答え 3 魚市場	獲れたばかりの魚が集められ、値段を決める「競り（せり）」が行われる場所のことです。ここで決まった魚が、日本各地のスーパーやお店へ運ばれていきます。
問18	答え 2 魚が小さいうちに食べられないように守り、漁業資源を増やすため	稚魚の時期は他の魚に食べられやすく、自然のままでは生き残る数が少ないことがあります。そのため、施設で安全に大きく育ててから放流することで、海や川にいる魚の数を効率よく増やし、安定して漁獲できるようにしています。

問1 有機栽培の特徴として、正しいものはどれですか。

- | | | | |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 農薬や化学肥料にたよらないで栽培する。 | 2. 乳牛をたくさん飼育して、牛乳やバターを生産する。 | 3. すずしい気候を利用して、出荷する時期を遅らせる。 | 4. ビニールハウスなどの施設を使い、あたたかい気候を利用する。 |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|

問2 漁港でとれたばかりの魚が集められ、買い手が値段を決めるために「せり」を行う場所を何とといいますか。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------------|
| 1. 魚市場 | 2. 冷凍庫 | 3. 水族館 | 4. スーパーマーケット |
|--------|--------|--------|--------------|

問3 農業試験場が、地元の農家のために行っている活動として正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1. 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する | 2. 農作物の価格を全国一律に決める | 3. 農作物を安く買い取ってスーパーへ売る | 4. 農家から集めたお金を貯金したり貸し出したりする |
|-----------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|

問4 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何とといいますか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 市場経由 | 2. 産地直送 | 3. 卸売販売 | 4. 輸入販売 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何とといいますか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 茶の栽培 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何とといいますか。

- | | | | |
|--------|----------|---------|---------------|
| 1. 直売所 | 2. 自動販売機 | 3. デパート | 4. コンビニエンスストア |
|--------|----------|---------|---------------|

問7 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何とといいますか。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 高冷地農業 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|----------|---------|

問8 林業において、木と木の間隔を広げて日光が地面まで届くようにし、木の成長を助けるための作業を何とといいますか。

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 伐採 | 2. 下草刈り | 3. 植林 | 4. 間伐 |
|-------|---------|-------|-------|

問9 畜産で生産されるもの（つくられるもの）の組み合わせとして、正しいものはどれですか。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-------------|
| 1. 肉や牛乳、卵 | 2. 魚や貝、わかめ | 3. 野菜や果物、米 | 4. 木材や炭、きのこ |
|-----------|------------|------------|-------------|

問10 近郊農業を行う農家が、いろいろな種類の野菜を少しずつ計画的に作っている理由として、最も適切なものはどれですか。

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 天気に左右されない野菜だけを選ぶため | 2. 大都市の人々の様々なニーズに応えるため | 3. 機械だけで全て自動で作れる野菜だから | 4. 米をたくさん作るためにお金が必要だから |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|

問11 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。

- | | | | |
|---------------------|----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 将来にわたって魚をとり続けるため | 2. 魚の値段を高くするため | 3. 新しい漁場を発見するため | 4. 外国との貿易を活発にするため |
|---------------------|----------------|-----------------|-------------------|

問12 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何とといいますか。

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 間伐 | 2. 枝打ち | 3. 伐採 | 4. 植林 |
|-------|--------|-------|-------|

問13 遠くの海で行う漁業で、1970年代から生産量が大きく減り続けているものはどれですか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 沿岸漁業 | 2. 沖合漁業 | 3. 遠洋漁業 | 4. 養殖業 |
|---------|---------|---------|--------|

問14 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。

- | | | | |
|-----------------|-------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 1. 魚を安く買うことができる | 2. 魚を冷やすための氷を海から作る事ができる | 3. 漁師が海で働く時間を短くできる | 4. 獲った魚を新鮮なうちに加工して、製品として売ることができる |
|-----------------|-------------------------|--------------------|----------------------------------|

問15 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。

- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 適地適作 | 2. 品種改良 | 3. 農業協同組合 | 4. 食料自給率 |
|---------|---------|-----------|----------|

問16 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 農作物の値段を、全国どこでも同じにすることができる | 2. 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる | 3. 大都市にある大きなスーパーに、たくさんの商品を並べられる | 4. 外国との貿易を活発にして、いろいろな国の食べ物が増やせる |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問17 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何とといいますか。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 農業協同組合 | 2. 農業試験場 | 3. 農村自治会 | 4. 農家連合会 |
|-----------|----------|----------|----------|

問18 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何とといいますか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 促成栽培 | 3. 有機栽培 | 4. 施設園芸 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 農薬や化学肥料にたよらないで栽培する。	有機栽培は、農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法のことです。
問2	答え 1 魚市場	漁港でとれた魚を全国の食卓へ届けるための大切な中継地点です。魚市場では、多くの買い手が集まって「せり」という方法で魚の値段を決めるため、漁業の流通にとって欠かせない場所となっています。
問3	答え 1 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する	農業試験場は、農家が抱える「病害虫を減らしたい」「もっと収穫量を増やしたい」といった悩みを解決するために、科学的な実験や調査を行う場所です。お金の管理や農作物の販売は、主に農業協同組合（JA）が行う役割です。
問4	答え 2 産地直送	生産者が育てた作物を、市場や問屋を通さずに消費者に直接届ける仕組みを「産地直送」といいます。間にはさまる業者を減らすことで、新鮮な状態のまま消費者に届けたり、生産者の顔が見えて安心感を持ってもらえたりするなどの良い点があります。
問5	答え 2 近郊農業	大都市の近くで行われるこの農業は、消費者に新鮮な野菜を届けることが大切です。そのため、トラック輸送などを利用して、大都市の人々が求める野菜を計画的に出荷する工夫がされています。
問6	答え 1 直売所	生産者が自分で育てた農産物を、卸売市場やスーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、消費者に直接売る場所を「直売所」といいます。収穫したばかりの新鮮なものが手に入ることや、生産者の顔が見える安心感があることが大きな特徴です。
問7	答え 3 高冷地農業	標高が高い場所にある高原などは、夏でも気温が低くすずしいため、暑さを苦手とする野菜を育てるのに適しています。このような気候の特徴を活かした農業を高冷地農業と呼びます。
問8	答え 4 間伐	森の木々が育ってくると、木どうしが混み合って日光が当たりにくくなります。そこで、あえて一部の木を切り倒して間隔を広げる「間伐」を行うことで、残った木に十分な日光と栄養がいきわたり、丈夫に育つようになります。
問9	答え 1 肉や牛乳、卵	畜産は、牛や豚、にわとりなどを飼うことで、肉や牛乳、卵などを生産する仕事です。
問10	答え 2 大都市の人々の様々なニーズに応えるため	大都市には多くの消費者が住んでおり、好みが多様です。そのため、種類の野菜を大規模に作るのではなく、消費者の需要に合わせて様々な野菜を年間を通して供給することが、近郊農業の大きな特徴となっています。
問11	答え 1 将来にわたって魚をとり続けるため	一度にたくさんの魚をとってしまうと、魚が十分に育ったり増えたりする前にいなくなってしまう。将来もずっと安定して魚をとれるように、今とる量を調整して、海にいる魚の数を守ることがこの取り組みの大切な理由です。
問12	答え 3 伐採	長い年月をかけて育てた木を、木材として利用するために切る作業のことを伐採といいますが、植林は苗木を植えること、枝打ちは節のないきれいな木にするために枝を切り落とすこと、間伐は成長を助けるために木を間引くことを指します。
問13	答え 3 遠洋漁業	遠くの世界で行う漁業を「遠洋漁業」といい、排他的経済水域の取り決めなどによって1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問14	答え 4 獲った魚を新鮮なうちに加工して、製品として売ることができる	獲った魚をすぐに加工することで、保存がきくようにしたり、料理しやすくしたりできます。このように工夫することで、魚の価値を高め、おいしい状態で全国に届けることができます。
問15	答え 2 品種改良	品種改良とは、より病気に強く、味や見た目が優れた農作物を生み出す技術のことです。農業試験場では、地域ごとの気温や土壌の特徴に合わせて、この品種改良がさかんに行われています。
問16	答え 2 農作物を運ぶトラックの燃料を減らし、環境を守ることができる	地元で生産されたものを地元で消費することで、遠くまで運ぶ必要がなくなります。これにより、トラックなどが排出する二酸化炭素を減らせるため、地球環境を守ることにつながります。また、地域の農家が元気になり、地域の産業が活性化するという良さもあります。
問17	答え 1 農業協同組合	農業協同組合（JA）は、農家同士が協力して農業経営を良くしていくための組織です。共同で肥料などの材料を買ったり、育てた作物を販売したりすることで、個人の農家だけでは難しい活動を支え、地域の農業全体を発展させる役割を担っています。
問18	答え 3 有機栽培	農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を有機栽培といえます。

問1 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

1. 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため
2. 魚を大きく育てるためのえさを海から集めるため
3. 他の漁業よりも働く時間が短くてすむため
4. 海を汚さないため

問2 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。

1. 遠洋漁業
2. 養殖漁業
3. 栽培漁業
4. 沖合漁業

問3 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何といいますか。

1. 直売所
2. 自動販売機
3. デパート
4. コンビニエンスストア

問4 夏の涼しい気候などを利用して、野菜の育つ時期を普通よりも「遅らせて」栽培する方法を何といいますか。

1. 水耕栽培
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 露地栽培

問5 漁港でとれたばかりの魚が集められ、買い手が値段を決めるために「せり」を行う場所を何といいますか。

1. 魚市場
2. 冷凍庫
3. 水族館
4. スーパーマーケット

問6 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。

1. 漁場の拡大
2. 乱獲の促進
3. 漁獲規制
4. 魚の養殖

問7 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。

1. 促成栽培
2. 近郊農業
3. 茶の栽培
4. 抑制栽培

問8 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。

1. 海溝
2. 潮目
3. 砂浜
4. 大陸だな

問9 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。

1. 農業協同組合
2. 農業試験場
3. 農村自治会
4. 農家連合会

問10 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

1. 畜産
2. 酪農
3. 水産業
4. 栽培漁業

問11 農業試験場が、地元の農家のために行っている活動として正しいものはどれですか。

1. 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する
2. 農作物の価格を全国一律に決める
3. 農作物を安く買い取ってスーパーへ売る
4. 農家から集めたお金を貯金したり貸し出したりする

問12 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といいますか。

1. 促成栽培
2. 酪農
3. 水産業
4. 林業

問13 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

1. 日本の近くの海に、プランクトンが急に増えたため。
2. 船を動かすための燃料が、世界中で使えなくなったため。
3. 魚を卵から人工的に育てる技術が広まったため。
4. 排他的経済水域の取り決めなどができたため。

問14 潮目について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. 陸地から遠く離れた、水深がとても深い海底のこと。
2. 魚を卵からかえして、大きくなるまで人工的に育てる場所。
3. 遠くの海まで行って、数か月かけて魚をとる場所。
4. 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場になっているところ。

問15 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。

1. 農家が商品を運ぶ必要がなくなる
2. 市場でのせりを行うことで価格が高くなる
3. 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる
4. 市場を通すよりも時間がかかる

問16 遠くの海で行う漁業で、1970年代から生産量が大きく減り続けているものはどれですか。

1. 沿岸漁業
2. 沖合漁業
3. 遠洋漁業
4. 養殖業

問17 促成栽培のやり方や特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. 農業や化学肥料にたよらないで、自然の力だけで野菜をつくる。
2. ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。
3. 同じ土地で、1年のうちに2種類の異なる作物を順番につくる。
4. すずしい気候を利用して、ほかの地域よりも遅い時期に野菜をつくる。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため	とる漁業だけでは魚の数が足りなくなってしまうこともあるため、施設を利用して自分たちで計画的に育てることで、いつでも安心して魚を食べられるようにするのが養殖漁業の大切な役割です。
問2	答え 2 養殖漁業	海の中にいけすなどの施設を設けて、魚や海そうを計画的に育てる方法を養殖漁業と呼びます。栽培漁業は、卵からかえした稚魚を育ててから海に放す漁業のことなので、施設で最後まで育てる養殖漁業とは区別しましょう。
問3	答え 1 直売所	生産者が自分で育てた農産物を、卸売市場やスーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、消費者に直接売る場所を「直売所」といいます。収穫したばかりの新鮮なものが手に入ることや、生産者の顔が見える安心感があることが大きな特徴です。
問4	答え 3 抑制栽培	抑制栽培は、標高の高い涼しい地域などを利用して、野菜の収穫時期を普通よりも遅らせる栽培方法です。他の地域で野菜がとれない時期に出荷できるため、高い値段で売ることができます。これに対して、ビニールハウスなどで温めて普通より早く育てる方法は「促成栽培」といいます。
問5	答え 1 魚市場	漁港でとれた魚を全国の食卓へ届けるための大切な中継地点です。魚市場では、多くの買い手が集まって「せり」という方法で魚の値段を決めるため、漁業の流通にとって欠かせない場所となっています。
問6	答え 3 漁獲規制	将来もずっと魚をとることができるように、とりすぎを防ぐためのルールを設けることを漁獲規制といいます。単に魚をとることを禁止するのではなく、量や期間を計画的に管理することで、魚の数が増えるのを助けながら、安定した漁業ができるようにしています。
問7	答え 2 近郊農業	大都市の近くで行われるこの農業は、消費者に新鮮な野菜を届けることが大切です。そのため、トラック輸送などを利用して、大都市の人々が求める野菜を計画的に出荷する工夫がされています。
問8	答え 4 大陸だな	暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多くてよい漁場となっている浅い海底を「大陸だな」といいます。
問9	答え 1 農業協同組合	農業協同組合（JA）は、農家同士が協力して農業経営を良くしていくための組織です。共同で肥料などの材料を買ったり、育てた作物を販売したりすることで、個人の農家だけでは難しい活動を支え、地域の農業全体を発展させる役割を担っています。
問10	答え 1 畜産	牛やぶた、にわとりなどの家畜を飼育して、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を畜産といいます。
問11	答え 1 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する	農業試験場は、農家が抱える「病害虫を減らしたい」「もっと収穫量を増やしたい」といった悩みを解決するために、科学的な実験や調査を行う場所です。お金の管理や農作物の販売は、主に農業協同組合（JA）が行う役割です。
問12	答え 2 酪農	畜産のうち、特に乳牛を飼って牛乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する仕事を酪農といいます。
問13	答え 4 排他的経済水域の取り決めなどができたため。	遠洋漁業は、排他的経済水域の取り決めなどができたことにより、遠くの海で自由に漁ができなくなったため、1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問14	答え 4 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場になっているところ。	潮目は、あたたかい暖流とつめたい寒流がぶつかり合う場所のことで、たくさんの魚が集まるよい漁場になります。
問15	答え 3 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる	産地直送の大きな特徴は、市場や卸売業者という「中間」のステップを省くことです。これにより、輸送にかかる日数が短くなって新鮮なものが届くだけでなく、中間でかかる余計なコストを抑え、農家にも消費者にも適正な価格で取引ができるようになります。
問16	答え 3 遠洋漁業	遠くの海で行う漁業を「遠洋漁業」といい、排他的経済水域の取り決めなどによって1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問17	答え 2 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。	促成栽培は、ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくって出荷する工夫です。